



有限会社 新樹

資料請求・お問い合わせ
0857-30-5703
shinjyu@ncn-t.net

骨格のゆがみが原因で引き起こす体の不調

☆ゆがみが原因で起こりやすくなる症状

①筋肉や骨の不調

姿勢の悪さによる首や背中、腰の筋肉への負担が、肩こりや腰痛の原因の1つとなります。また、背中が丸くなったり反りすぎている状態は、背骨と背骨の間にある椎間板を変形させ、椎間板ヘルニアや脊椎分離症を引き起こすこともあります。

②神経の圧迫による不調

脳からつながった神経の束を脊髄(知覚神経・運動神経・自立神経等)といいます。背骨がゆがんだり、曲がったりすると脊髄が圧迫される。脳からの指令が正しく伝わらなくなり、さまざまな不調を招きます。姿勢が悪いと、内臓を含めた全身に影響が及びます。原因不明の体の不調は、こんなところからきているのかもしれない。

③内臓の圧迫による不調

姿勢の悪さは、肺や胃、腸などの内臓を圧迫することによりさまざまな不調を招きます。姿勢が悪くと肺が圧迫され、呼吸が浅くなり全身が酸素不足の状態に陥ります。体の細胞は酸素を必要とするため、酸素が足りないと疲れやすく、免疫力も低下する。

④骨盤のゆがみによる不調

姿勢が悪くと骨盤もゆがみやすくなります。骨盤内には、小腸、大腸、膀胱といった臓器のほか、女性の場合は子宮や卵巣といった生殖器も含まれています。骨盤がゆがむと、これらの臓器を正常な位置で支えられなくなり、お互いに圧迫します。その結果、便秘や月経不順、不妊といった問題まで生じます。また、腸の圧迫により便秘になったり、代謝も悪くなり、冷えやむくみが起こりやすくなります。

